



船橋薬剤師会新年会報告

船橋薬業会長 岡村 慶一

去る1月26日、船橋グランドホテルにて、藤代船橋市長、清水鎌ヶ谷市長ご臨席のもと、会員約60名の出席を賜って盛大に新年会が挙行されました。

今年は、船橋医師会より吉田会長、船橋歯科医師会より廣岡会長、船橋・鎌ヶ谷両市の助役、教育長、健康福祉部長、船橋保健所長、習志野保健所長、船橋市立医療センターより薬剤部長、看護部長、等関係各方面を代表する方々にご出席いただき、大変ありがたく思っております。

その中で、両市長から「かかりつけ薬局、かかりつけ

薬剤師として広く医療における市民のサポート役として活躍している」「薬剤師の質が上がった」とのお言葉をいただき、薬剤師という職能がここまで評価されるようになったかと大変驚くとともに感激いたしました。

このことは、会員各位が、行動する薬剤師・顔の見える薬剤師として市民に認知されてきていることの表れではないでしょうか。私も皆様と共に、より一層、薬剤師会会員として、日々研鑽に努めなければとの思いを強くしました。

「健康介護まちかど相談薬局」研修会によせて

県薬介護委員 楡木 匡子

これからの“まちかど相談薬局”とは？

高齢社会になっていく日本の街のなかで、介護について「どう頼ればよいのか」、「介護をたのんでみたけどおもしろくない」などについて、何処に聞きにいけばよいのかと悩んでいる高齢者やその家族の方々がおられます。皆様の薬局に何か買い物にこられて、そんな質問はありませんでしたか？

介護保険の保険請求をされる薬局さんも増えています、保険請求に不備があったり間違いがあったりするそうです。今回保険請求などに関しては千葉県国保連合会から石井課長がこられ説明されます。また、後日になるとと思いますが、研

修を受けられた方に研修終了証と、研修シールがでることと、日薬から看板がくるそうです。内容は薬剤師会から送られる研修会のお知らせをご覧ください。

—— 記 ——

「健康介護まちかど相談薬局」研修会

主催 千葉県国民健康保険団体連合会

社団法人千葉県薬剤師会

協賛 社団法人船橋薬剤師会

日時 平成17年3月29日(火) 19:00～21:00

場所 船橋グランドホテル 芙蓉の間(B1)

夜急診業務に関する勉強会について

分業委員長 柳田 智紀

昨年12月より薬剤師が加わった夜急診が始まりましたが、この度、業務を円滑に行うため、医師会より夜急診従事者へ勉強会に参加をという要請がありました。お食事の用意がありますので、関係者は3月23日までに参加の有無を必ず事務局にお知らせください。

日時 4月11日(月) 19:30～

場所 船橋グランドホテル

議題 船橋市夜間急病診療所 —円滑な運営システムの構築に向けて—

なお、2月・3月分のお手当ては薬剤師会より振り込みます。口座番号をあらためて事務局にお知らせください。

《県薬からのお知らせ》

「治療薬マニュアル2005」「今日の治療薬2005年版」が日薬にて斡旋されています。

「治療薬マニュアル2005(医学書院)」定価5,250円、会員価格4,875円

同書籍+CD-ROM版セット 定価10,500円、会員価格9,555円

「今日の治療薬2005年版(南江堂)」定価4,830円、会員価格4,350円

申し込みは支部薬剤師会まで

電話 047 (424) 2330

Fax 047 (424) 5700

ホームページもご覧ください。

<http://www.funabashi-yaku.or.jp/>

学薬より 学薬委員長 木村 憲

平成17年度は4月1日より55名の学薬薬剤師が始まります。昨年度よりも9名多い体制です(2名減、11名増)。前号で人数が正確ではありませんでしたので、お詫びし訂正いたします。

空気検査は新たに二酸化窒素(NO_2)が加えられたのを受け、去る2月の2日間、船橋市内7校においてホルムアルデヒドとともに検査を行いました。7校中6校で基準値(0.06ppm)を超える NO_2 が検出されました(ホルムアルデヒドは不検出)。

気管支炎の原因となる NO_2 は暖房器具(石油・ガスを用いる)を使用すれば大なり小なり発生します。空気の燃焼により簡単に生成されるようで、二酸化炭素同様に室内空気の汚れを示す指標として換気の徹底が必要となります。

今回、最高値は0.26ppm、最低値は0.03ppm(ザルツマン法)となりましたが、「学校環境衛生の基準」解説(青本)を参考に有効で十分な換気が学校現場で実施されるように、学校薬剤師からの適切な指導・助言をお願いいたします。

学術委員会からのお知らせ

副会長 水谷 迪夫

本委員会は会員の皆さんの研修に役立つように、講演会形式を中心とした勉強会の開催を主な活動とする部会です。処方箋を発行する医師の顔が見えるように、できる限り船橋市内の医師に講師をお願いし、年に5～6回くらい予定しています。

本年は既に1月に「抗癌剤」、2月に「小児の薬について」2回開催しました。最近は特に若い方の勉強に対する意欲が高まり出席人数も多く、テーマによっては50名近い参加を見るようになりました。出席された皆様には日薬研修センターのアンケートをお願いしており、「役に立つ」との御意見が多く寄せられ、主催する側としてはうれしく思っております。その中で、会場が狭いという不満の声も聞かれますが予算の都合上、中央保健センター会議室を使わざるを得ませんのでご理解いただきたいと思います。

なお、当会主催の研修会の他に県病薬西部支部主催の会も共催としてお知らせしておりますが、これについても今後研修シールを発行するようにします。今後、興味のあるテーマがありましたら、皆様の要望に沿いたいと思いますのでご提案ください。

2月・3月合同定例会(理事会)報告

2月定例会(2月2日) 主な審議事項

- ・県薬「個人情報保護法に関する支部担当者伝達講習会及びFAXカウンター支部担当者意見交換会」出席者選任
- ・薬物乱用防止指導員の推薦(6名)
- ・「薬業会だより」執筆依頼について(テーマ:県民事業について)
- ・予算会議(総会)の日程について
- ・小売商組支部活動活性化協力品(マスク)の配布について
- ・医療廃棄物処理事業について
- ・分業FAX(各病院採用薬の変更等)の送信について
- ・委員会の見直しについて
(医療廃棄物処理事業・夜間救急診療・薬学生受け入れ)
- ・入退会:なし

3月定例会(3月9日) 主な審議事項

- ・ペイオフ解禁後の預金について
- ・薬務課事務講習会報告(公益法人について)
- ・夜急診について
- ・予算総会について
- ・配布物の依頼について(歯科医師会、他)
- ・県学薬講習会の参加者について
- ・個人情報保護法に関して
- ・県薬介護研修会について
- ・入退会:なし

インフルエンザは流行終焉の兆しを見せ、花粉症がピークを迎えようとしています。会員の皆様もお忙しい時期かと思いますが、ご自身の健康にも十分留意し、ご自愛ください。

会報に載せてほしい記事・情報を募集していますので、事務局までお気軽にお寄せください。

発行: 船橋薬剤師会 編集: 広報委員会(真木貞行・森下睦夫)